**第９回登別市市民自治推進委員会　ぬくもり部会議事録**

（敬称略）

◆ 開催日時：平成２９年５月３１日（水）　１８時００分～

◆ 開催場所：登別市役所２階　第１委員会室

◆ 出席部会員：部会長　 雨洗　康江

副部会長　田渕　純勝

　　　　 　　部会員　 今 　順子

　　　　　　　　 　　　千葉　円哉

岩浅　眞純

　　　　　　　　　　　　 平田　雅樹（協働推進庁内委員会副部会長）

【保健福祉部子育てグループ総括主幹】

◆ 欠席部会員：部会員　　鎌田　和子

梅田　秀人（協働推進庁内委員会部会長）

【保健福祉部次長】

◆ 事　務　局：　　　　　早坂　晃正【市民生活部市民協働グループ主任】

◆ 議　　　題：特定健診の受診率向上のための取り組みについて

≪事務局≫

皆さんこんばんは。お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

ただいまから第９回ぬくもり部会を開催したいと思います。

まず事務局から、前回の会議の内容についてと、配布しております資料について説明をさせていただき、部会長に引き継ぎたいと思います。

まず、前回の会議ですが、第３回部会長・副部会長会議の内容について事務局から説明させていただいた後に、受動喫煙に関わる新聞記事や伊達のポイントカードについてなど情報提供をさせていただきました。

その後、市民自治推進委員会の委員を対象とした特定健診のアンケート調査の結果について皆さんにお配りしまして、委員でも３分の１の方が受診していないということが判明し話題となり、本部会での健康に関する取り組みについて、市民の特定健診受診率の向上のための取り組みに的を絞り、協議を進めて行くという話になりました。

今回の会議では、その取り組み内容についてのアイディアを皆さんで出しましょうということになっておりました。

次に、配布しております資料についてですが、町内会等の会長宛に配付した内容で、特定健診の受診や千円ドックについてなどの周知を各町内会にお願いしたものです。

説明は以上です。部会長よろしくお願いいたします。

≪部会長≫

早速ではありますが、事務局から話がありましたとおり、どのようにしたら健診の受診率が上がるのか協議して行きたいと思います。なかなかアイディアを出すことは難しく、私は周りの人に聞いてみました。やはり身近な人が急に病気になってしまった。または友人に誘われて健診に行ったことで、初期の病気が発見できたことから毎年健診を行っている方がいました。行かない人は、病気が見つかることが怖い、忙しいため行く時間がないといったことを理由に受診していない人が多くいまして、そのような方も身近な人に何かあった時には動くのではないかと思います。

　みなさんは何かアイディアはありますか。

≪部会員≫

　配付された資料を見て思いましたが、病気の説明ではなく、恐怖心を与えるではないですが、健診に行かなければと思う強い表現を使ったチラシで周知することも必要ではないかと思います。そのような周知をするためには、単位町内会の力を借りないと難しいかもしれない。

≪部会員≫

　身近な人や親族が、早期発見で助かった話などの実体験がないと健診に行かなければと感じないと思います。本人的には行かなくてはならないと気が付いているけど実行できていないだけだと思います。

≪庁内委員≫

　必要性については、アンケートの結果でも８割の人が必要と回答しています。

　≪部会員≫

　一回でも健診に行けば継続して行くようになると思います。

　　その一回をどのようなきっかけで行くのかですね。

　≪部会員≫

　周知するためにも町内会の力を借りなければならないと思います。

≪部会員≫

　町内会だけでなく、各団体の総会などの集まりであれば、多くの方が参加されているので、そのような場での周知も効果的ではないでしょうか。

≪部会員≫

　事業所などでも、半強制的に健診を実施するといった取り組みや声掛けを行うことも効果的だと思います。

≪副部会長≫

　健診すべてではなく、きっかけになるように採血だけということもできるのではないかと思います。

採血でも色々な病気を発見できるのではないかと思います。

≪部会員≫

　私は、毎日血圧を測っています。

私の知人は、普段より血圧が高く、血圧がさがらないため病院で診察を受け、そのまま入院したという方がいました。毎日血圧を測るだけでも健康を意識するうえで重要なことだと思います。

≪副部会長≫

　若い時から職場等での健診を受ける癖がついている人であれば、年を取ってからも抵抗なく受けることができていると思います。

　逆に、私達の年齢になってから健診に行くとなると抵抗があるのだと思います。

≪部会長≫

　東北の方で、小学校のうちから社会教育の一環として健診などについて勉強し、受診率が向上して医療費を削減できたという話を聞いたことがありました。

≪部会員≫

　マイクロバスのように小さい車で各地域を回り、採血のみを行うといった取り組みもおもしろいかもしれません。

≪副部会長≫

　献血を定期的に行うだけでも変化や異状を発見できると思います。

≪庁内委員≫

　採血を病院でなく、違う場所で行うことで健診を受けるきっかけになるということですか。

≪副部会長≫

　例えば、その日ごとに回る地域を決め、時間や場所のＰＲを行い場合によっては送迎を行うという取り組みを考えないといけませんね。

≪部会員≫

　送迎は広報車で行えば、同時に周知もできますね。

≪部会員≫

　こちらから出向く姿勢がないと受診率は上がらないのではないでしょうか。

≪部会員≫

　高齢者の場合、行きたくても行く手段がないという方も多いと思うので、こちらから出向くということは必要なことだと思います。

≪副部会長≫

　受診率を上げることは、地道な活動になると思います。

　また、地域に検診車が来ているところをあまり見かけません。

≪庁内委員≫

　ＰＲを行っても健診を受けてもらえないのであれば、こちらか出向くことも考える必要性があると感じます。

≪副部会長≫

　継続的に健康管理をしてあげる必要があると思います。

以前、私の提案で市連合町内会の総会で、特定健診の受診率を上げたいという話をしてもらったこともありました。

町内会でも、我々役員は当然さまざまな情報を知っているのですが、それが末端の方まで行き届けることは簡単ではありません。各町内会の活動の徹底が必要になります。

≪部会長≫

　情報をもらう方も興味が無ければ見てもらえないため、知ってもらうことも難しいと思います。どのように興味を引き付けるかも課題だと思います。

　次回も引き続きどのような取り組みができるかについて、アイディアを出していただき協議していきたいと思います。

　本日もお疲れ様でした。

**【次回以降について】**

・特定健診の受診率を上げる手法について検討する。

・第４回部会長・副部会長会議の報告

・次回開催　６月３０日（金）１８：３０～